

交通死亡事故発生状況

(平成30年中 確定数)

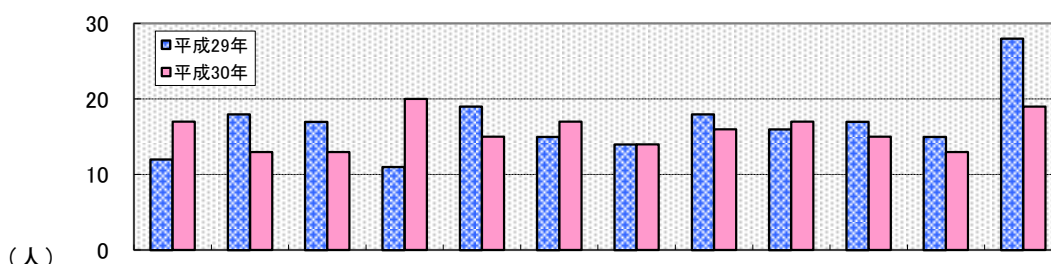
1 平成30年中の交通事故

区分	年中			12月中		
	発生数	増減数	増減率	発生数	増減数	増減率
人身事故件数	35,258	-3,857	-9.9	3,290	-270	-7.6
死者数	189	-11	-5.5	19	-9	-32.1
負傷者数	42,548	-5,284	-11.0	3,921	-345	-8.1

- ・ 死亡事故は、189件 189人で
昨年と比べ7件 -11人
- ・ 人身事故件数は、9.9%の減少
- ・ 負傷者数は、11.0%の減少

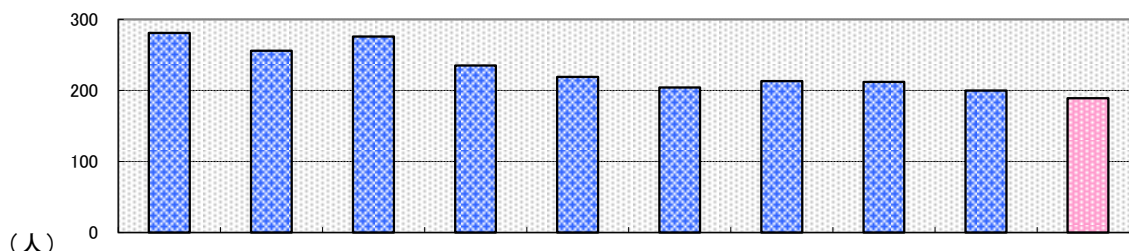
2 月別死者数

～ 12月中の死者は、19人で9人の減少 ～



年 / 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平成29年	12	18	17	11	19	15	14	18	16	17	15	28	200
平成30年	17	13	13	20	15	17	14	16	17	15	13	19	189
増減数	5	-5	-4	9	-4	2	0	-2	1	-2	-2	-9	-11
増減率	41.7	-27.8	-23.5	81.8	-21.1	13.3	0.0	-11.1	6.3	-11.8	-13.3	-32.1	-5.5

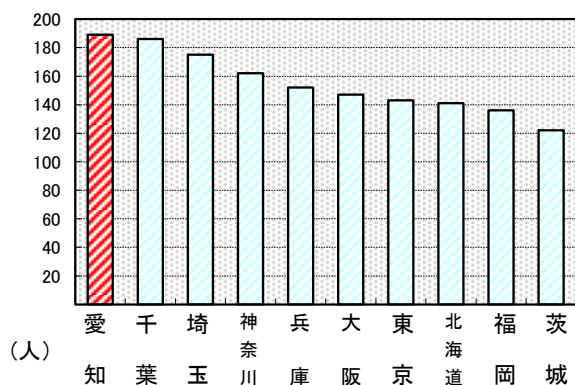
3 死者数の年別推移



12月末	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年
死者数	281	256	276	235	219	204	213	212	200	189

4 都道府県別死者数

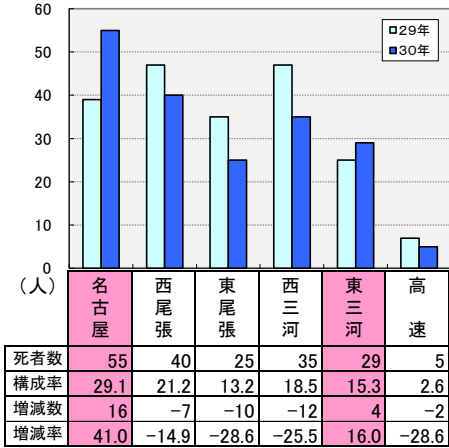
順位	都道府県	12月末	増減数	増減率
1	愛知	189	-11	-5.5
2	千葉	186	32	20.8
3	埼玉	175	-2	-1.1
4	神奈川	162	13	8.7
5	兵庫	152	-9	-5.6
6	大阪	147	-3	-2.0
7	東京	143	-21	-12.8
8	北海道	141	-7	-4.7
9	福岡	136	-3	-2.2
10	茨城	122	-21	-14.7
全 国		3,532	-162	-4.4



5 交通死亡事故の特徴

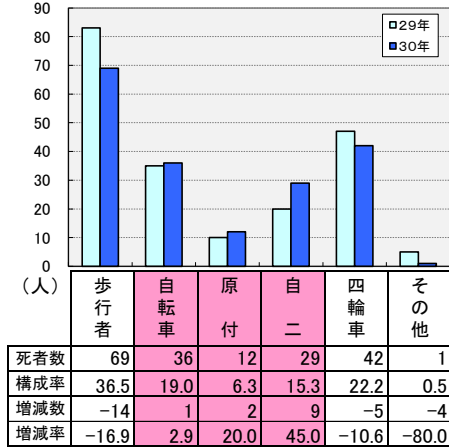
(1) 地域別

～名古屋・東三河が増加～



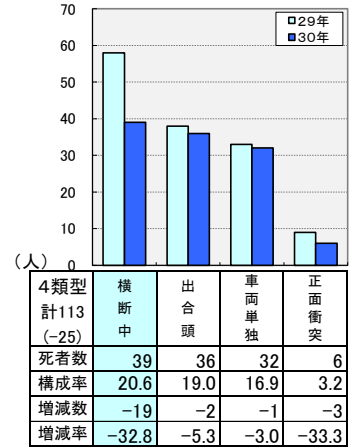
(2) 当事者別

～自転車・原付・自二が増加～



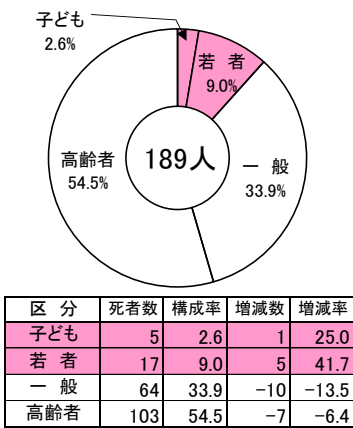
(3) 主な事故類型別

～横断中が多発～



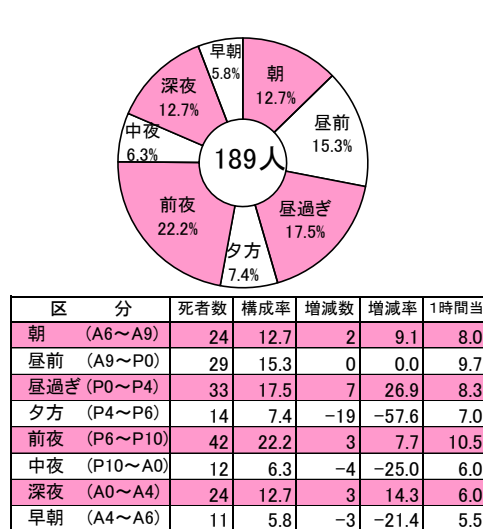
(4) 年齢層別

～子ども・若者が増加～



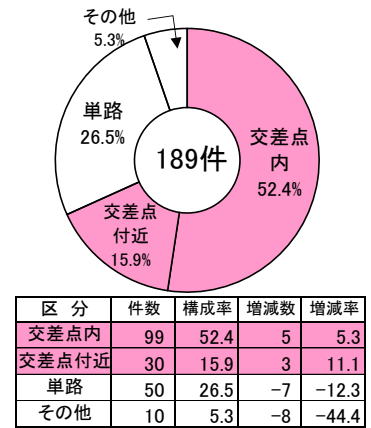
(5) 時間帯別

～朝・昼過ぎ・前夜・深夜が増加～



(6) 道路形状別

～交差点内・交差点付近が増加～



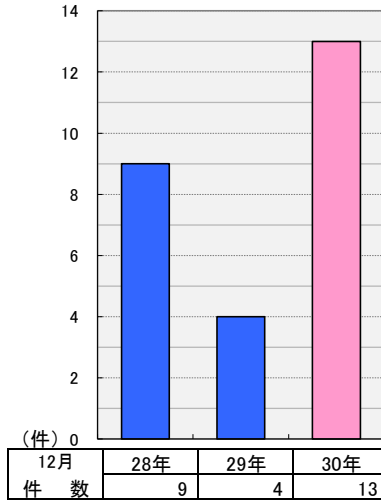
(7) 法令違反別(第1原因)

～原付以上の最高速度
自転車の一時不停止、歩行者の横断等が増加～

区分	件数	構成率	増減数	増減率
総数	189	100.0	-7	-3.6
計	149	78.8	-8	-5.1
原付以上	52	27.5	-6	-10.3
重点5態様	22	11.6	-10	-31.3
信号無視	10	5.3	-4	-28.6
最高速度	11	5.8	8	266.7
歩行者妨害等	9	4.8	0	0.0
一時不停止	2	1.1	2	100.0
酒酔い	0	0.0	0	-
前方等	62	32.8	0	0.0
その他	35	18.5	-2	-5.4
小計	23	12.2	5	27.8
自転車	5	2.6	0	0.0
信号無視	5	2.6	0	0.0
一時不停止	5	2.6	5	100.0
その他	13	6.9	0	0.0
小計	17	9.0	-2	-10.5
歩行者	6	3.2	-2	-25.0
信号無視	6	3.2	-2	-25.0
横断等	1	0.5	1	100.0
その他	10	5.3	-1	-9.1
その他・不明	0	0.0	-2	-100.0

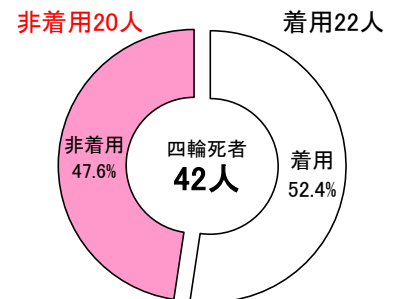
(8) 飲酒運転事故発生状況

～飲酒運転死亡事故は13件
前年同期と比べ9件増加～



(9) シートベルト着用状況

～42人中20人が非着用～



区分	運転席	同乗者			合計
		助手席	後部席	その他	
合計	35	5	2	0	42
着用	19	2	1	0	22
非着用	16	3	1	0	20
効果有	7	2	1	0	10

【注】対象:原付以上の第1当事者

【注】効果有は着用していれば助かったと思われる人